



屋外広告物の大津市・草津市共通新ルールの方角性

両市を結ぶ沿道の景観特性に応じた、新たな景観誘導ルールを導入

1 両市を結ぶ幹線道路である県道 18 号線と、歴史街道である東海道の沿道に新たなルールを導入します
※大津港口ー矢橋中央間

2 2つの路線の景観特性を踏まえて、メリハリのあるルールにより景観誘導を実施します
路線内全てに共通ルール(推奨ルール)を設定し、エリアによって強弱をつける方向。
屋上広告物・非自家用・デジタルサイネージは、場所や内容によって、規制が相応しい場合には規制を検討。

I 琵琶湖や対岸景観と調和した、県道18号線の景観保全に向け、ルールを設定

1 美しい琵琶湖や背景の山並み、対岸景観と調和した色彩となるようルールを設定します

2 周辺の景観に配慮した、自家用広告物の大きさや高さとなるようルールを設定します

II 東海道の風情あるまちなみと調和した、にぎわいある歴史景観の創造に向け、ルールを設定

1 歴史的なまちなみに配慮した色彩となるようルールを設定します

2 周辺の町家等とバランスのとれた、自家用広告物の大きさや高さとなるようルールを設定します

III 美しい眺望や周辺のまちなみとの調和を意識した、屋上広告物のルールを設定

課題が多く、景観阻害要因であるケースが多く見受けられる。

IV 魅力ある沿道景観の保全に向け、非自家用広告物のルールを設定

課題が多く、景観阻害要因であるケースが多く見受けられる。

V 電光可変式広告物など新しい技術を活用した屋外広告物を含む、光や照明についてルールを設定

今後は屋外広告物の主流となってくる可能性。

来年度の検討内容

■ エリアの検討

どこからどこまでのエリアを重点的に景観誘導するかなど。

■ 県道 18 号線のルール設定について

色彩…彩度、色数、コーポレートカラー、写真、使用面積など。
大きさ…周辺に配慮した大きさとはどのくらい？ 野立を統一するかなど。
高さ…街路樹の魅力が引き立つ。街灯、信号機等の妨げとならない。野立の高さ(低くする)、高さを統一するかなど。
その他…文字など。

■ 東海道のルール設定について

色彩…彩度、色数、コーポレートカラー、写真、使用面積など。
大きさ…まちなみ(建物)や道とのバランスを踏まえて検討。
高さ…歩行者を意識した高さとは？
その他…文字、素材感、自家用野立の設置のルールなど。

■対岸景観に影響の大きい屋上広告物については、少なからずルールの検討が必要。
大きさや禁止エリアの導入など。

■どちらの路線においても、非自家用広告物は課題が多い。ルールの検討が必要。
大きさ、高さ、デザイン、設置枚数、店舗までの距離、許可期間、禁止エリアの導入など。

■今後は、屋外広告物の過剰な照明や点滅、デジタルサイネージなど新しい技術が活用されるケースが想定される。どちらの路線においても、ルールの検討が必要。
大きさ、色彩(禁止色)、点滅・動画の速さ、夜間消灯時間、明るさ、設置場所(信号との関係)、禁止エリアの導入など。

要素別

種類別